様

全大腸内視鏡検査を受けられる方へ

目的・方法

この検査は、肛門から内視鏡を挿入し大腸内を観察します。
大腸のあらゆる疾患の診断を行います。

当日、来院されてからの流れ

問診　心臓病、高血圧症、糖尿病、緑内障、肝臓病、前立腺肥大症の有無、手術歴などの確認をします。内服薬も確認します。

診察　医師の診察および検査について説明があります。

前処置　腸管内をきれいにします。腸管洗浄液と水を飲んでいただき、排便が黄色透明になれば完了です。完了は看護師が判断します。
まず、腸管洗浄液1000mL飲んで(コップ1杯を5分おき)、引き続き水を500mL以上飲みます。その後は、排便の状態を見ながら腸管洗浄液500～1000mLと水250～500mを飲みます。

更衣　前処置完了後、検査着に着替えます。

午後(13時)～夕方

検査･治療　血圧測定後、鎮静剤、鎮痛剤、腸の蠕動を抑制する薬を静脈注射します。
詳しく観察・診断するために、場合によっては青色の色素をかけたり生検（組織を一部採取）を行うことがあります。
また、小ポリープは治療（摘除）する場合もあります。

結果説明　検査終了後、30分～１時間程度ベッドで休んでいただいた後、医師から検査結果の説明があります。その後帰宅できます。
なお、時間を要した方は、帰宅が夕方遅くなることもありますので他の用事は何もつくらずにご来院ください。

【検査終了後帰宅される方】

食事　生検・小ポリープ摘除をした場合は、2～3日アルコール、香辛料などの刺激物は避けてください。
何も処置をしなかった場合は、普段通りに食事をしても構いません。

入浴　生検・小ポリープ摘除をした場合は、その日は熱いお風呂や長時間の入浴は避けて下さい。

【治療をうけられる方】

治療後2週間は出血の危険性がありますので、お粥を食べアルコールや刺激物は避けてください。また、運動や腹圧のかかる仕事なども控える必要があります。なお、万が一出血した場合は、入院中なら退院延期に、帰宅後であれば再入院になることもありますので、治療日から2週間先までに大切な用事を予定しないように御配慮ください。

★ 検査後、下痢や腹部不快感などがみられる場合もありますが、通常は1～2日間でおさまります。
★ 腹痛や血便をみる場合は、時間に関係なくすぐお知らせください。
★ 水は500mLペットボトルの自動販売機を設置しています（1本120円）。
ご自分で持参されてもかまいません。

大腸肛門病センター高野病院　TEL 096-384-101